



(こども版) としょかんだより No.295

2008年

12月号

わくわく本だな

富山市立図書館

今月のおすすめ



= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

「 チコときんいろのつばさ 」 (えほん)

レオ・レオーニ / 作 あすなる書房



チコは、つばさのないことりです。ある日、まほうで
きんいろのつばさをつけてもらいます。ところが、なかまたち
からは、「つばさのいろがちがう」となかまはずれにされました。
どうしたら、なかまに入れてもらえるのでしょうか。

「 キンギョのてんこうせい 」

阿部 夏丸 / 作 講談社

ドジョウのドジオは、いつも体をくねくねさせています。おまけに
どろだらけなので、友だちができません。ドジオは友だちがほしいと
神さまにおいのりをしました。そのとたん、ドジオの住む池に
キンギョがふってきたのです。



「 トライフル・トライアングル 」

岡田 依世子 / 作 新日本出版社



健と愛はふたごですが、まったく似ていません。愛は柔道じゅうどうが好き
で、健が好きなのはビーズ織りおです。そんな健のことを愛はからか
って「おかま」とよびます。ある日ふたりは、カフェのオーナー静香しずか
さんから、ある秘密ひみつをうちあけられました。

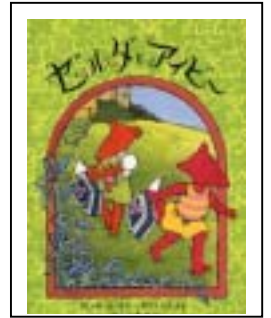
あたらしくはいった本

ものがたり

「ゼルダとアイビー」

クヴァスナースキー / 作 B L 出版

きつねのゼルダは、お父さんが作ってくれるきゅうりサンドにあきあきして、家出することにしました。妹のアイビーとうらにわで、しばらくかくれていましたが、いつまでまってもお父さんたちは二人をさがしにきません。



「はんぶんぺぺちゃん」

村中 李衣 / 作 佼成出版社



はるこのとうさんは、遠くではたらいっているので、たまにしか会えません。クリスマスの日、2ヶ月ぶりにとうさんと会ったはるこは、何を話したらいいのかわかりません。だまっているはるこに、とうさんはぺぺちゃん人形をくれました。ぺぺちゃんの赤いほっぺが、はるこによくにていると言うのです。

このおはなし な～んだ？

おはなしの題名^{だいめい}あてクイズ



ぼくは めいたんていです。あいぼうは、犬のスラッグです。ぼくのところには、いつも事件^{じけん}やなぞがまいこみます。きょうは友だちに、ゴミをあさる犯人^{はん にん}さがしをたのまれました。真夜中、ぼくはゴミばこにかくれて、犯人をさがしました。それなのに、次の朝、またゴミがあさられていたのです。犯人はいったいだれなんでしょう。

さあ、このおはなしの題名が 君にはわかるかな？

(こたえは、さいごのページにのってます)

ものがたり

「大ドロボウ石川五十五えもん」

吉田 純子 / 作

ポプラ社

石川五十五えもん、五十六えもん、五十七えもんの三兄弟は、有名な大ドロボウ石川五えもんの血を引いています。三人はご先祖にまけないりっぱなドロボウになろうとしますが、いつもしっばいばかり。そんな三人がドロボウたいじの名人の家にしのびこむことになりました。さて、うまくいくのでしょうか？



「負けるな、ロビー」

マイケル・モーパーゴ / 作

評論社



ロビーは、交通事故にあってから、目を覚まらず体も動きません。でも病院のベッドのまわりでみんながはげます声は聞こえています。ある日、あこがれのサッカー選手がお見まいに来てくれました。ロビーは、どうしてもおき上がって話したいと思います。

「ダーティ・ドラゴン」

キャロル・ヒューズ / 作

小学館

ジョーは、いなくなった妹を追いかけてふしぎな世界にまよいこみます。そこでは、はげしい戦争が行われていました。戦場案内人の老人スパイダーは、ジョーをつれて妹をさがす旅にでます。おそろしい破壊マシンからのがれ、たどりついたのは、あれはてた都でした。



ちしきの本

「なげいたコオロギ」

桜井 信夫 / 作 編書房



日本には、ずっと昔からうたわれていた歌があります。しかし、今とは言葉がちがうので、そのままでは意味がわかりません。そこで、この本ではみなさんに楽しんでもらえるよう、昔のうたを今の言葉でわかりやすくしょうかいしています。

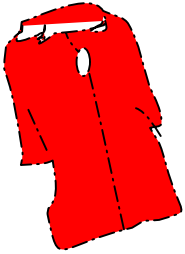
名作をよもう！

今月の1さつ



「アンナの赤いオーバー」 (えほん)

ハリエット・ジューフェルト / 作 評論社



「戦争が終わったら、新しいオーバーを買ってあげようね」
お母さんはアンナにやくそくしてくれました。けれども、戦争が
終わったのにお店はからっぽ、お金がないので買いものもできま
せん。そこでオーバーをつくるために、うちにあった金時計と
羊の毛を取りかえてもらうことにしました。

つくってみよう！

第7回



牛乳パックで「おみくじ」をつくろう！
みんなで、来年のうんせいをうらなおう。

用意するもの 牛乳パック わりばし3本

作り方

- (1)牛乳パックの底を四角く切り取る(6~8ミリのはば)。
- (2)わりばしに大吉、中吉、小吉と書く。
- (3)わりばしを牛乳パックの中に入れ、
飲み口の部分をふさぐ。
- (4)牛乳パックをゆすって、くじを出す。



「1がつのこうさく」 小峰書店より



《クイズのこたえ》

「まよなかのはんにん」

「ぼくはめいたんてい」シリーズ

「めいたんていネート」シリーズ

(マージョリー・W・シャーマット / 作)

ぼくの名前は、ネート。^{かいけつ}解決した事件を
よんでみてね。

< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272